

## 第1回 (2020年度) 日本セラミックス協会功績大賞受賞者

ひらの しんいち  
平野 眞一 氏



平野眞一氏は、セラミックスプロセッシング、特に金属有機化合物分子を前駆体としたケミカルプロセッシングによる機能性セラミックスの低温合成と微構造制御、セラミックナノ粒子や有機・無機ハイブリッド材料の合成と機能評価の先駆的な研究で、この分野の発展に多大な貢献をした。本協会に於いては、1986年以降18年間にわたって理事を務め、特に、1997～1999年に国際セラミック連盟会長、2003～2005年にアジア・オセアニアセラミック連盟会長として国際交流事業の推進に尽力した。また、2002年度には副会長、2003年度には会長として、協会の発展に尽力した。さらに、2003年には日本で初めて開催されたPACRIM 5 (第5回環太平洋セラミックス会議)を委員長として主導した。加えて、基礎科学部会の発展にも部会長として尽力した。2010年度以降は顧問及び経営諮問会議委員として会長に適切な助言を行い、協会運営に大いに貢献した。

以上、同氏は本会における活動を通じてセラミックス分野の発展に顕著な業績を挙げるとともに、長年にわたって日本セラミックス協会の活動に極めて多大な貢献をした。よって、日本セラミックス協会功績大賞として表彰する。

**略歴** 1970年3月名古屋大学大学院工学研究科博士課程応用化学専攻修了、工学博士。同年東京工業大学助手、助教授(その間ペンシルバニア州立大学博士研究員)、1978年4月名古屋大学工学部助教授、1983年同教授、工学部長・工学研究科長を経て、2004年4月名大総長、2009年3月任期満了退職、同年4月(独)大学評価・学位授与機構長、2012年3月任期満了退職、2009年上海交通大学訪問講席教授、2013年5月上海交通大学致远講席教授・学長特別顧問・平野材料創新研究所長

**受賞歴** 1984年粉体粉末冶金協会研究功績賞、1986年日本セラミックス協会学術賞、1987年米国セラミック学会 Richard M. Fulrath Awards、1989年日本化学会学術賞、同年米国セラミック学会フェロー表彰、1991年日本セラミックス協会創立100周年記念学術功労賞、2000年日本ファインセラミックス協会国際賞、2006年米国セラミック学会 Distinguished Life Members Award、2008年中国科学院 Einstein Professorship Award、2009年日本結晶成長学会業績賞、2016年上海人民政府上海市国際科技合作賞、同年日本セラミックス協会フェロー表彰、2018年瑞宝大綬章授章

**協会歴** 1992年度～2007年度理事(2002年度副会長、2003年度会長)、2010年度～顧問、2018年度～名誉会員